



水問題

13ミリと20ミリの不公平感

堀越 道男 議員

議員

東日本大震災では、広域的に張り巡らされた配水管が至る所で寸断され、断水が起こった。識者も広域水道の持つ弱さを指摘しているだけに、広域に頼る水道行政でよいのか。

都市建設部長

地下水と県からの受水、どちらの水源も重要であり、併用していく考えである。

議員

八ッ場ダムを建設すれば常総市にとっても水道料金の値上げになることは間違いない。新たな水源の開発は必要ではない。走り出したら止まらない今の公共事業に対して、市町村の首長がどんどん意見を言っていくというのは大事だと思う。

市長

市では年間4億3000万ほど県水を買っており、その内5500万円は実際に市で使っていないまでも、責任引取量として取られている。その部分については不当であると県に言っていきたいと思っている。

議員

実態に合わないものを市民に負担させているのだから、改善が必要ではないか。パイプラインが長いと災害時に弱いことから、地元の地下水を守っていくことが必要である。

市長

まず県の市長会等で話し合うことが第一歩だと思っている。

議員

常総市の水道は、単一制度をとっており、口径によって基本料金の差はないが、口径13ミリは20ミリに比べて水量が少ないのに、同じ基本料金が取られるというのは不公平感があるのではないか。

都市建設部長

これから研究していきたい。



□ 殿 園 圃 JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI □ 殿 園 圃

何事も手順が大事



圏央道常総インターチェンジ周辺整備事業「アグリサイエンスバレー」構想の進捗状況について



常総インターチェンジ周辺

水野 昇 議員

るのか。

都市建設部長

どういった法人が進出するか、地元法人の形態によって適用になる補助も変わってくる。地方創生を視野に入れ、積極的に補助金を取り入れていきたい。

議員

補助についてもしっかりと地権者にわかりやすく説明をいたさないといけない。20件の相続未登記があるとのことだが。

企画部長

現在手続きを進めているが、中には相続権者がたくさんいて難しい方もいる。

議員

だから地権者の同意が一番先だと言っている。いくら測量を終わらせて進んだとしても、そういうのが整わなかったら、台無しになってしまう。地権者104名のうち何割の人が参入するのか。私は構想に反対しているわけではない。不転の決意をやってもらわないと困る。

市長

農地転用については権限委譲が進んできており、最大の壁であった農林調整をクリアできる環境にある。今こそチャンスとすることで取り組んでいきたい。